

「えらチャレ」推進事業の実施に向けて ～不登校児童生徒等へのアンケート結果について～

佐久市教育委員会事務局
学校教育課

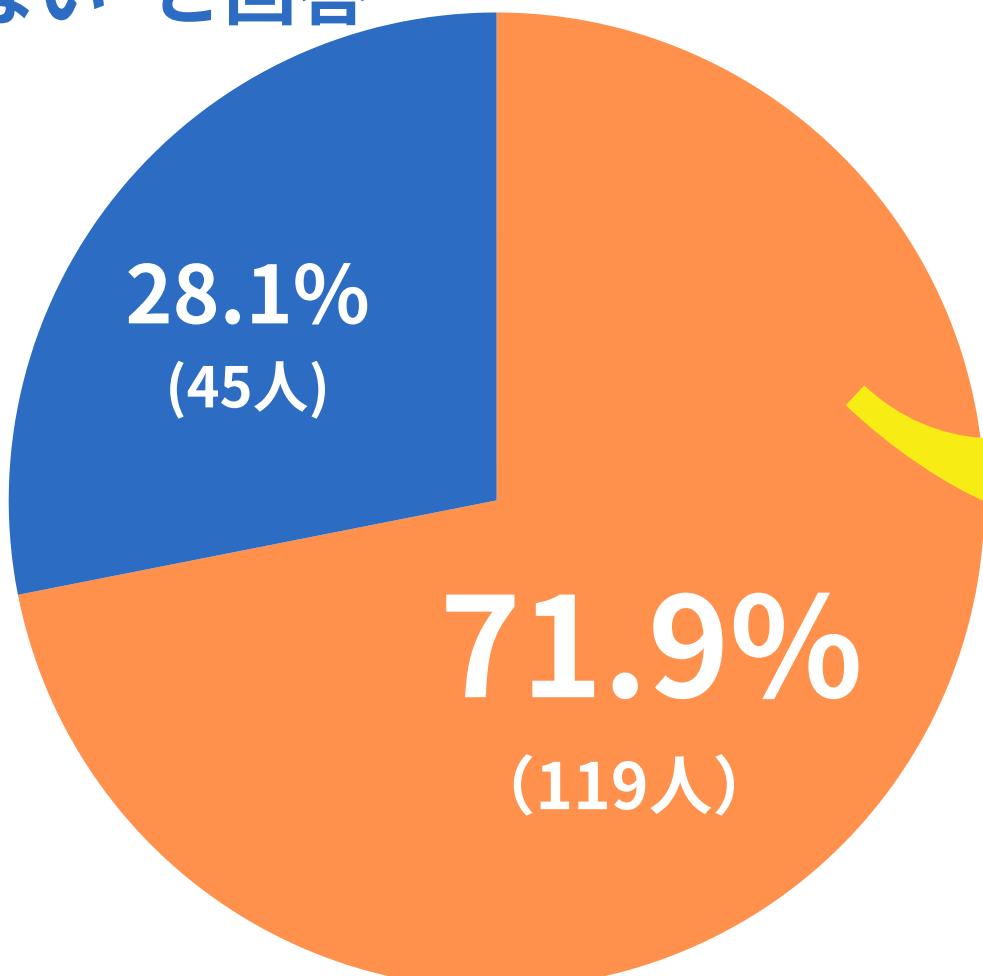
アンケートの概要

- 実施期間：令和7年12月24日～令和8年1月27日
- 調査対象：市内公立小中学校 長期欠席（30日以上）及び
欠席傾向（いざれも病気等の理由を除く）の児童生徒351名
(R7.12月末時点)
- 調査方法：上記児童生徒とつながりのある教職員等による聞き取り
- 回答人数：164名

学校を休んでいても学びたい

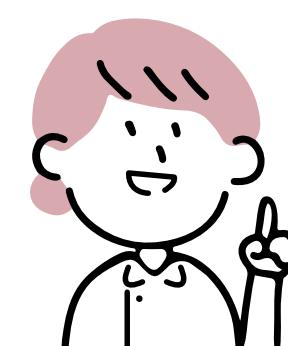
質問：学校をお休みしている時に家でやっていること学んでいることはありますか。

“ない”と回答



“ある”と回答

このうち



学校に行けなくとも、
約70%の児童生徒が教科や
興味関心のあることを学んでいる

38.7%(46人)の児童生徒
教科の学習をしている

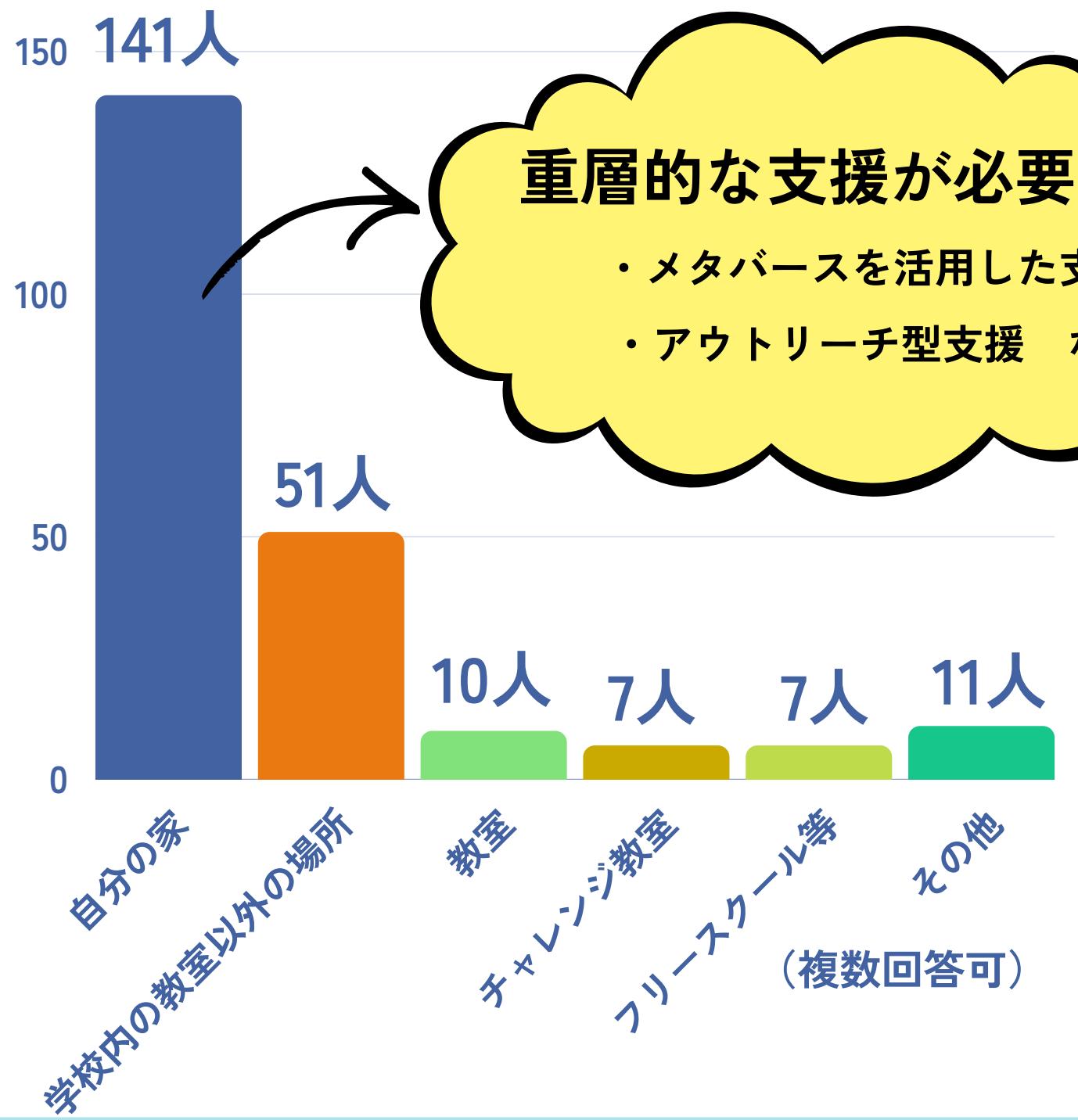


61.3%(73人)の児童生徒
プログラミング、読書、デザイン、楽器
料理、運動、畑仕事、折り紙 など



安心していられる場所は？

質問：あなたが安心していられる（いられそうな）
場所はどこですか？



重層的な支援が必要

- ・メタバースを活用した支援
- ・アウトリーチ型支援 など



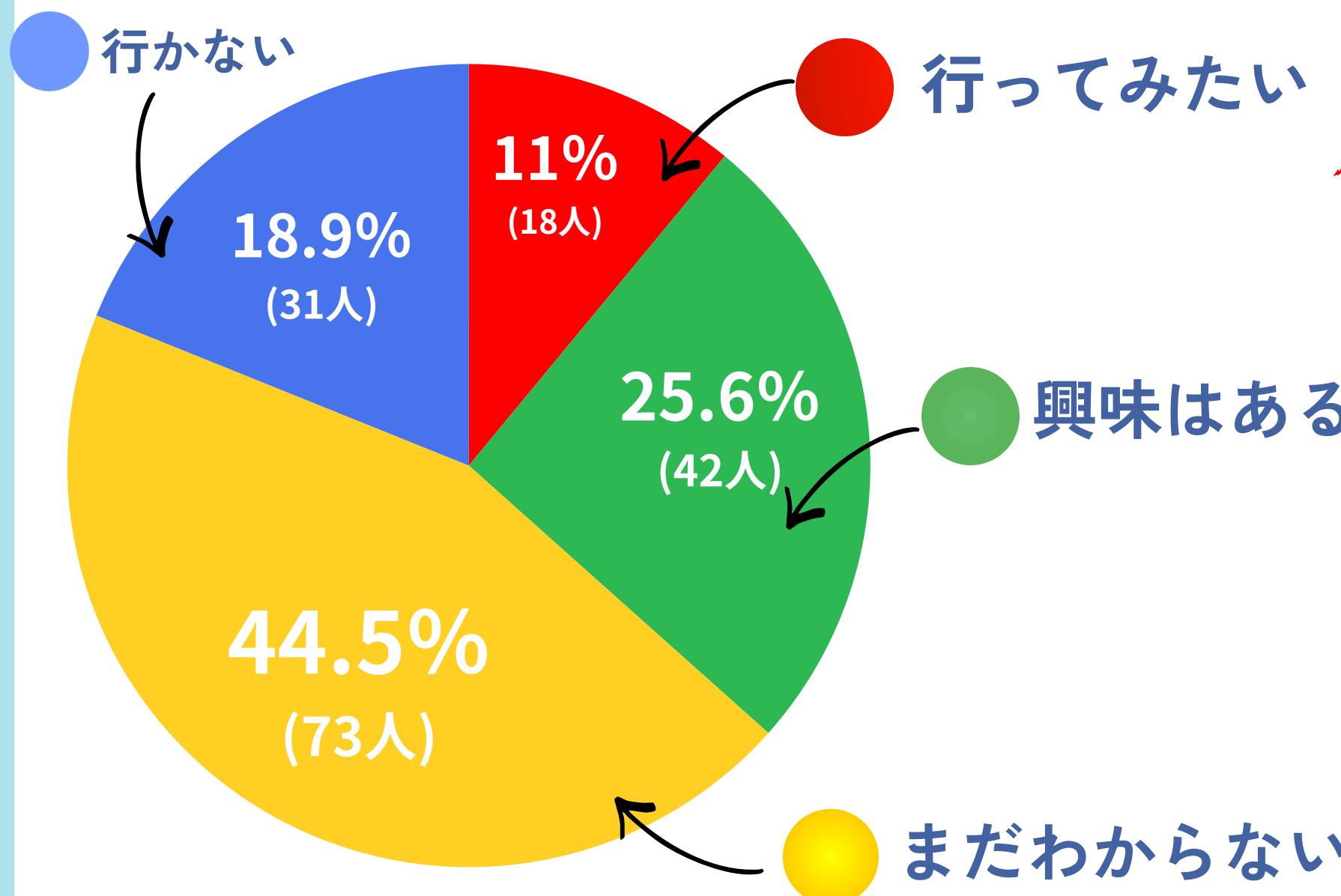
- 「自分の家」と回答した児童生徒が一番多かったがそれ以外には・・
- 「学校内の教室以外の場所」という回答が多い
- そのほかにも、教室・チャレンジ教室
フリースクールなど



子どもたちの学びを支えるために
安心して学べる居場所づくりが必要

もし「えらチャレ」があれば

質問：えらチャレ（選べるチャレンジ教室）ができたら行ってみたいですか？

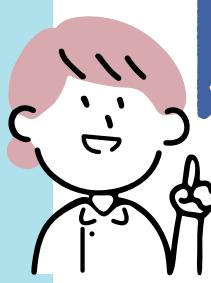


36.6% の
肯定的回答



「まだわからない」(44.5%)
「行かない」(18.9%)
と回答した児童生徒を
分析してみると…





たくさん「好きなこと」や 「やってみたいこと」が見えてきた

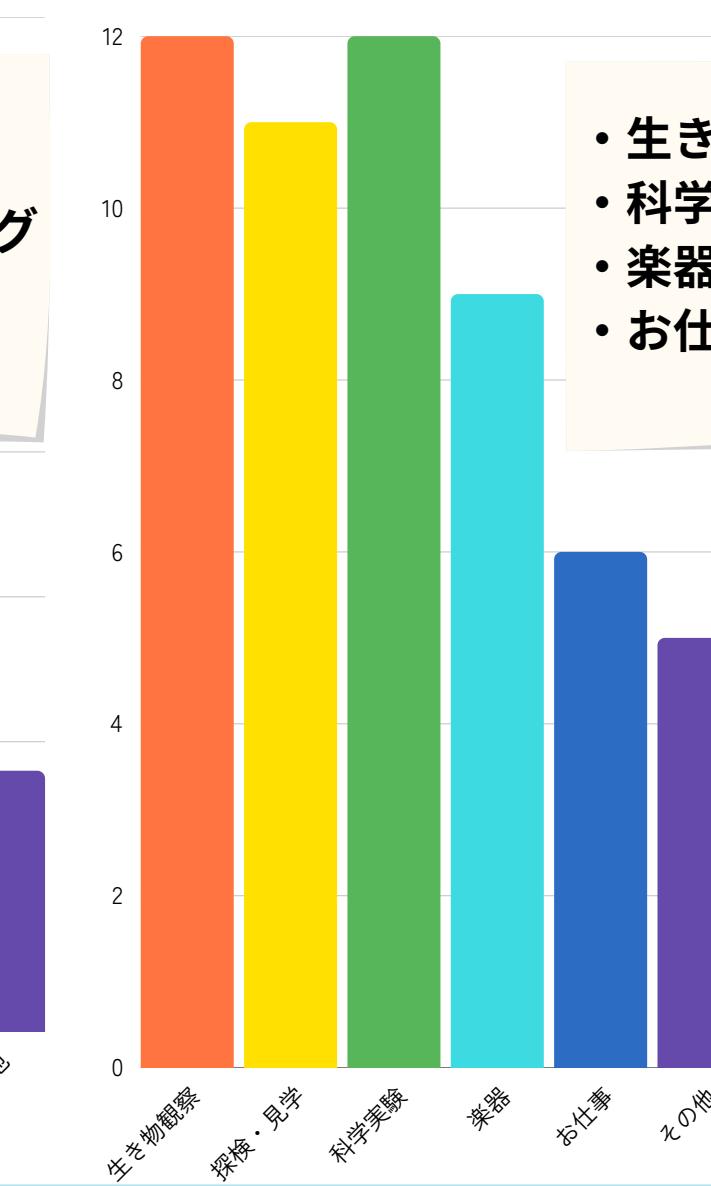
質問：あなたの好きなこと、やってみたいことを選んでください。

(複数回答可)

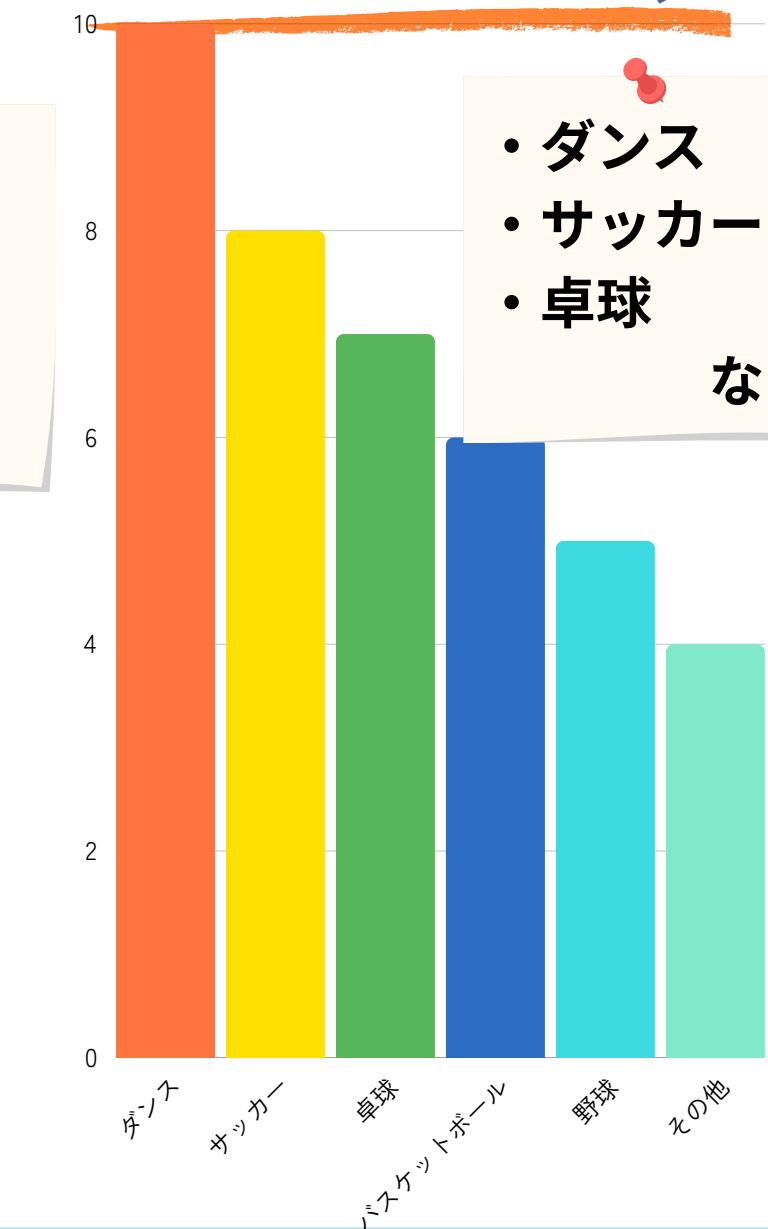
作りたい(66人)



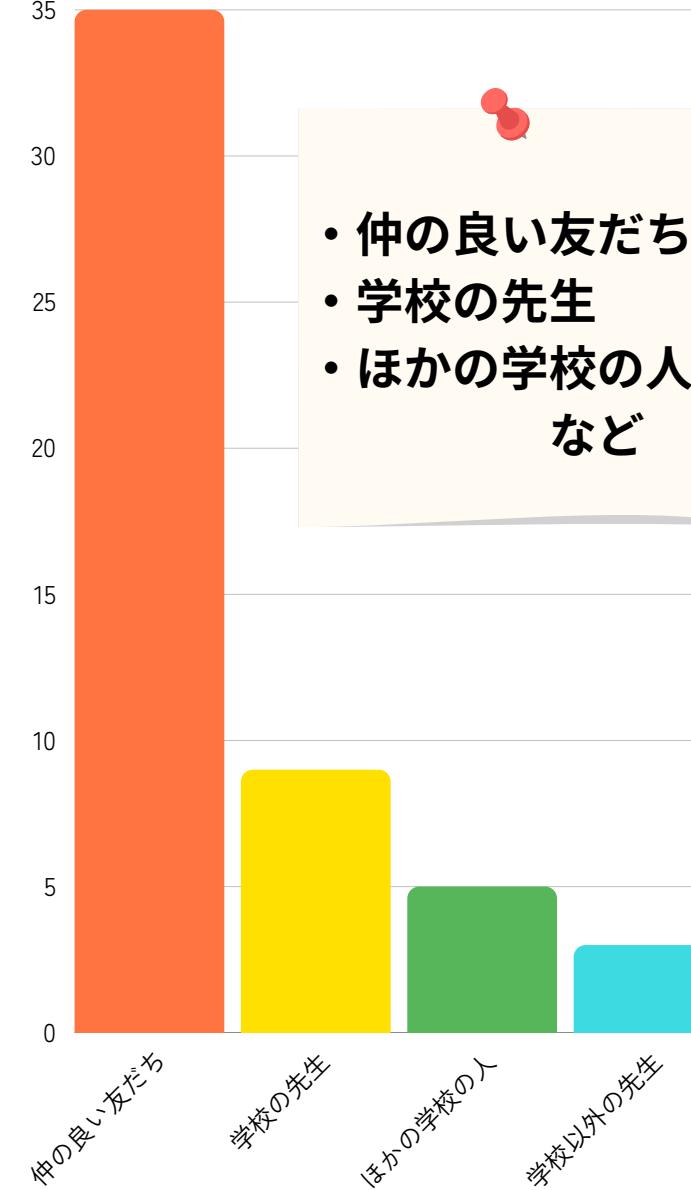
体験・実験したい(49人)



体を動かしたい(40人)



お話したい(39人)



子どもたちの
おもいやねがいを
支えられる場所が
あるといいな。

子ども達の多様な学びを支える「えらチャレ」

えらチャレ

目的 誰一人取り残すことなく、
心と体の健康を保ちながら、

学びを保障する

芸術分野

絵画やクラフト、音楽など多様な芸術分野に特化し、自由に表現することができる
チャレンジ教室



スポーツ分野

サッカーや野球、卓球など体を動かす活動を通して、おもいっきり活動できる
チャレンジ教室



自立学習分野

自分が知りたいこと、興味のあることを、自分のペースを大切に学習できる
チャレンジ教室



お仕事分野 (キャリアアップ)

お仕事体験などを通して、多様な視点や考え方を学び、社会性を育む
チャレンジ教室



ICT分野

タブレットを活用して、プログラミング学習や、様々なデジタルツールを使った活動ができる
チャレンジ教室



自然分野

豊かな自然の中で、植物・動物・昆虫など様々な生き物との触れ合いを味わえる
チャレンジ教室



科学分野

様々な素材や薬品を使った科学実験が楽しめる。実験を通して、観察実験の技能を高める
チャレンジ教室



佐久市の
メタバース空間
支援センター

支援センター

教育委員会の役割

子どもたちの
やってみたい！
行ってみたい！
をサポートします。

